



NEWS RELEASE

平成24年2月13日

平成23年度第3四半期報告

フコクしんらい生命保険株式会社（本社：東京都港区白金台3-2-10、社長：大嶋 邦男）の平成23年度第3四半期（4月1日～12月31日）の業績をお知らせします。

目 次

1. 主要業績	……	1 頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……	3 頁
3. 四半期貸借対照表	……	5 頁
4. 四半期損益計算書	……	6 頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……	8 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……	9 頁
7. 特別勘定の状況	……	10 頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……	10 頁
（参考）証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況	……	10 頁

1. 主要業績

(1) 保有契約高、新契約高及び解約・失効契約高

①保有契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	平成22年度末		平成23年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数		金 額	
				前年度末比		前年度末比
個人保険	95	6,945	126	131.9	8,062	116.1
個人年金保険	236	9,691	290	122.5	11,572	119.4
個人保険+個人年金保険	332	16,637	416	125.2	19,635	118.0
団 体 保 険	-	4,423	-	-	4,535	102.5

(注)個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

②新契約高

(単位:千件、億円、%)

平成22年度 第3四半期累計期間	新契約+転換による純増加		新契約	転換による純増加
	件 数	金 額	金 額	金 額
個人保険	10	651	651	-
個人年金保険	98	4,364	4,364	-
個人保険+個人年金保険	109	5,016	5,016	-
団 体 保 険	-	84	84	-

平成23年度 第3四半期累計期間	新契約+転換による純増加		新契約		転換による純増加	
	件 数	金 額	金 額	金 額	金 額	
					前年同期比	前年同期比
個人保険	35	1,596	1,596	245.1	-	-
個人年金保険	56	2,007	2,007	46.0	-	-
個人保険+個人年金保険	91	3,603	3,603	71.8	-	-
団 体 保 険	-	174	174	206.9	-	-

(注)1. 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。

2. 新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

③解約・失効契約高 (個人保険+個人年金保険)

(単位:億円、%)

区 分	平成22年度 第3四半期累計期間	平成23年度 第3四半期累計期間	
			前年同期比
解約・失効契約高	500	439	87.8
解約・失効率	4.45	2.64	△ 1.81

(注)1. 失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

2. 解約・失効率の前年同期比には増減ポイントを記載しています。

(2) 年換算保険料

①保有契約

(単位:百万円、%)

区 分	平成22年度末	平成23年度 第3四半期会計期間末	
			前年度末比
個 人 保 険	13,566	20,307	149.7
個 人 年 金 保 険	85,993	103,379	120.2
合 計	99,560	123,687	124.2
うち医療保障・生前給付保障等	1,717	1,744	101.6

②新契約

(単位:百万円、%)

区 分	平成22年度 第3四半期累計期間	平成23年度 第3四半期累計期間	
			前年同期比
個 人 保 険	2,198	7,427	337.8
個 人 年 金 保 険	39,524	18,471	46.7
合 計	41,723	25,899	62.1
うち医療保障・生前給付保障等	47	172	364.8

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

(3) 主要収支項目

(単位:百万円、%)

区 分	平成22年度 第3四半期累計期間	平成23年度 第3四半期累計期間	
			前年同期比
保 険 料 等 収 入	441,968	308,024	69.7
資 産 運 用 収 益	9,000	15,294	169.9
保 険 金 等 支 払 金	9,640	16,594	172.1
資 産 運 用 費 用	59	1,413	2,380.7
経 常 利 益	2,421	3,395	140.3
四 半 期 純 利 益	1,302	1,666	127.9

(4) 総資産

(単位:百万円、%)

区 分	平成22年度末	平成23年度 第3四半期会計期間末	
			前年度末比
総 資 産	1,012,396	1,323,832	130.8

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	平成22年度末		平成23年度 第3四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金・コールローン	71,957	7.1	66,178	5.0
買 現 先 勘 定	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-
買 入 金 銭 債 権	-	-	-	-
商 品 有 価 証 券	-	-	-	-
金 銭 の 信 託	-	-	-	-
有 価 証 券	930,250	91.9	1,247,738	94.3
公 社 債	929,578	91.8	1,247,163	94.2
株 式	488	0.0	375	0.0
外 国 証 券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-
そ の 他 の 証 券	184	0.0	200	0.0
貸 付 金	2,877	0.3	2,978	0.2
不 動 産	41	0.0	39	0.0
繰 延 税 金 資 産	1,221	0.1	336	0.0
そ の 他	6,047	0.6	6,561	0.5
貸 倒 引 当 金	△0	△0.0	△0	△0.0
合 計	1,012,396	100.0	1,323,832	100.0
うち外貨建資産	-	-	-	-

(2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:百万円)

区 分	平成22年度末					平成23年度 第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差損益			帳簿価額	時価	差損益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	257,937	254,652	△ 3,284	3,293	6,577	334,098	344,060	9,962	10,777	814
責任準備金対応債券	618,600	619,347	746	7,258	6,511	752,379	774,287	21,908	26,518	4,610
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	53,197	53,713	515	940	425	159,200	161,260	2,060	2,458	397
公 社 債	52,548	53,040	492	864	372	158,619	160,684	2,065	2,396	330
株 式	493	488	△ 5	47	52	425	375	△ 49	17	67
外 国 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	156	184	28	28	—	156	200	44	44	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	929,735	927,713	△ 2,022	11,492	13,514	1,245,678	1,279,608	33,930	39,754	5,823
公 社 債	929,086	927,040	△ 2,045	11,416	13,462	1,245,097	1,279,033	33,936	39,692	5,756
株 式	493	488	△ 5	47	52	425	375	△ 49	17	67
外 国 証 券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	156	184	28	28	—	156	200	44	44	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位:百万円)

区 分	平成22年度末	平成23年度 第3四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	—	—
その他の有価証券	—	—
非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
合 計	—	—

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	平成22年度末 要約貸借対照表 (平成23年3月31日現在)	平成23年度 第3四半期会計期間末 (平成23年12月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
現金及び預貯金		71,957	66,178
有価証券		930,250	1,247,738
(うち国債)		(504,563)	(638,552)
(うち地方債)		(206,082)	(287,360)
(うち社債)		(218,932)	(321,249)
(うち株式)		(488)	(375)
貸付金		2,877	2,978
保険約款貸付		2,877	2,978
有形固定資産		87	79
無形固定資産		1,937	1,863
代再そのの他資産		4	3
再保店		4	5
繰延税金資産		4,054	4,648
貸倒引当金		1,221	336
		△ 0	△ 0
資産の部合計		1,012,396	1,323,832
(負債の部)			
保険契約準備金		985,990	1,275,012
支払準備金		1,739	1,781
責任準備金		983,596	1,272,617
契約者配当準備金		654	613
代再そのの他負債		1,685	1,494
再保店		14	19
その他の負債		4,021	12,663
未払法人税等		884	200
リース債務		1,045	873
資産除去債務		2	2
その他の負債		2,088	11,587
退職給付引当金		8	14
特別法上の準備金		433	620
価格変動準備金		433	620
負債の部合計		992,152	1,289,825
(純資産の部)			
資本		15,000	20,499
資本剰余金		5,000	10,499
資本準備金		5,000	10,499
利益剰余金		△ 84	1,581
その他の利益剰余金		△ 84	1,581
繰越利益剰余金		△ 84	1,581
株主資本合計		19,915	32,581
その他有価証券評価差額金		328	1,426
評価・換算差額等合計		328	1,426
純資産の部合計		20,243	34,007
負債及び純資産の部合計		1,012,396	1,323,832

4. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	平成22年度 第3四半期累計期間 〔平成22年4月 1日から 平成22年12月31日まで〕	平成23年度 第3四半期累計期間 〔平成23年4月 1日から 平成23年12月31日まで〕
		金額	金額
経 常 収 益		451,130	323,489
保 険 料 等 収 入		441,968	308,024
(うち保険料)		(441,842)	(307,881)
資 産 運 用 収 益		9,000	15,294
(うち利息及び配当金等収入)		(8,927)	(13,247)
(うち有価証券売却益)		(73)	(2,046)
そ の 他 経 常 収 益		162	170
経 常 費 用		448,709	320,093
保 険 金 等 支 払 金		9,640	16,594
(うち保険金)		(1,511)	(1,647)
(うち年金)		(131)	(158)
(うち給付金)		(2,039)	(4,391)
(うち解約返戻金)		(5,652)	(10,041)
(うちその他返戻金)		(151)	(223)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		419,892	289,063
支 払 備 金 繰 入 額		—	42
責 任 準 備 金 繰 入 額		419,891	289,020
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		0	0
資 産 運 用 費 用		59	1,413
(うち支払利息)		(11)	(10)
(うち有価証券売却損)		(47)	(1,402)
事 業 費		16,564	11,011
そ の 他 経 常 費 用		2,552	2,011
経 常 利 益		2,421	3,395
特 別 損 失		132	187
固 定 資 産 等 処 分 損		—	0
特 別 法 上 の 準 備 金 繰 入 額		132	187
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		132	187
そ の 他 特 別 損 失		0	—
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額		283	349
税 引 前 四 半 期 純 利 益		2,005	2,858
法 人 税 及 び 住 民 税		857	754
法 人 税 等 調 整 額		△ 155	437
法 人 税 等 合 計		702	1,192
四 半 期 純 利 益		1,302	1,666

注 記 事 項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

平成23年度第3四半期会計期間末	
1. 会計上の変更、過去の誤謬の訂正	
当第3四半期累計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	
当社における事業費に係る消費税及び地方消費税の処理は、従来、税込方式によっておりましたが、新会計システムの導入を機に親会社との会計処理の統一を図るため、当第3四半期累計期間から税抜方式へ変更しました。	
当該会計方針の変更は遡及適用されておりますが、当第3四半期累計期間の期首の純資産額への影響はありません。	
2. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。	
イ. 当期首現在高	654百万円
ロ. 当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	390百万円
ハ. 利息による増加等	0百万円
ニ. 契約者配当準備金繰入額	349百万円
ホ. 当第3四半期会計期間末現在高	613百万円
3. 株主資本の金額の著しい変動	
当社は、平成23年5月25日を払込期日とし、富国生命保険相互会社他から第三者割当増資の払い込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が5,499百万円、資本準備金が5,499百万円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が20,499百万円、資本準備金が10,499百万円となっております。	

(四半期損益計算書関係)

平成23年度第3四半期累計期間
1. 1株当たり四半期純利益は3,187円34銭であります。

注. 当社における事業費に係る消費税及び地方消費税の処理は、従来、税込方式によっておりましたが、新会計システムの導入を機に親会社との会計処理の統一を図るため、当第3四半期累計期間から税抜方式へ変更しました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期累計期間については遡及適用後の財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期累計期間の損益計算書は、事業費が766百万円減少し、税金が766百万円増加しております。なお、これによる経常利益及び税引前四半期純利益への影響はありません。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成22年度 第3四半期累計期間	平成23年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	2,514	2,864
キャピタル収益	73	2,046
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	73	2,046
金融派生商品収益	—	—
為替差益	—	—
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	47	1,402
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	47	1,402
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	—	—
為替差損	—	—
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	25	643
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	2,540	3,507
臨時収益	—	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	—	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	118	112
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	118	112
個別貸倒引当金繰入額	0	0
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△ 118	△ 112
経常利益 A+B+C	2,421	3,395

〈参考〉基礎利益の内訳（三利源）

区 分	平成22年度 第3四半期累計期間	平成23年度 第3四半期累計期間
基礎利益(①+②+③)	2,514	2,864
① 費差損益	△ 264	257
② 危険差損益	1,233	1,176
③ 利差損益	1,545	1,429

- (注) 1. 「費差損益」は想定した事業費と実際に支出した事業費等の額との差から生じる利益(△は損)です。
 2. 「危険差損益」は想定した保険金・給付金と実際に発生した支払額との差から生じる利益(△は損)です。
 3. 「利差損益」は想定した運用収益と実際の運用収益との差から生じる利益(△は逆ざや)です。

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項 目	平成22年度末	平成23年度 第3四半期会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	24,872	39,679
資本金等	19,915	32,588
価格変動準備金	433	620
危険準備金	1,218	1,330
一般貸倒引当金	0	0
その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	463	1,854
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	2,571	2,312
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	270	973
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	7,199	9,427
保険リスク相当額 R1	609	621
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	123	121
予定利率リスク相当額 R2	171	208
資産運用リスク相当額 R3	6,759	8,989
経営管理リスク相当額 R4	229	198
最低保証リスク相当額 R7	—	—
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	690.9%	841.8%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

(参考) 新基準によるソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項目	平成22年度末	平成23年度 第3四半期会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	24,644	39,451
資本金等	19,915	32,588
価格変動準備金	433	620
危険準備金	1,218	1,330
一般貸倒引当金	0	0
その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	463	1,854
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	2,571	2,312
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	42	745
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	9,905	13,952
保険リスク相当額 R1	609	621
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	123	121
予定利率リスク相当額 R2	310	348
資産運用リスク相当額 R3	9,258	13,295
経営管理リスク相当額 R4	309	287
最低保証リスク相当額 R7	—	—
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	497.5%	565.5%

(注) 平成22年内閣府令第23号、平成22年金融庁告示第48号により、ソルベンシー・マージン総額及びリスクの合計額の算出基準について一部変更(マージン算入の厳格化、リスク計測の厳格化・精緻化等)がなされております。当該変更は平成23年度末から適用されます。上記は、仮に当該変更を平成22年度末及び平成23年度第3四半期会計期間末に適用したと仮定した場合の数値です。

7. 特別勘定の状況

該当ありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。

<参考>証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

該当ありません。